

## 事務所通信 パクチャー

2024年9月号

### 税理士法人PLUS 1

〒542-0081

大阪市中央区南船場 1-16-10 大阪岡本ビル5階

電話：06-6264-6135 F A X：06-6264-6136

9月6日(金)は社外研修により終日臨時休業



いつもお世話になります。今年の夏は例年に比べ特に暑く、羽化したセミが樹木の高いところまで登れず子供の虫取網が簡単に届く位置に何匹も渋滞しているのをよく見かけました。蚊も今年は少なかったですね。反面、観葉植物は水やりさえ怠らなければ、例年以上に株が増えたりよく成長したような気がします。写真は愛好家も多い食虫植物「ウツボカズラ」。

## 知っどこ! 「税」の マメ知識

### 今月のマメ知識：【定額減税とは?】

2024年6月から所得税と住民税の「定額減税」がスタートしました。これは家計に影響を及ぼす物価高などの対策として「国民の負担を軽減する」ことを目的とした、1年限り行われる制度です。日本国内に住所が



あり、年間の所得金額が1805万円以下の方が対象で、納税者本人だけでなくその配偶者などを含めた扶養親族も対象となります。その額は1人あたり所得税から3万円、住民税からは1万円の合計4万円です。分かりやすく言えば、給与などが支給される際に所得税や住民税が減額されて、受取金額が多くなるという仕組みです。自営業者などの事業所得者の場合は、予定納税や確定申告の際にその適用を受けることができます。さらに「定額減税によって住宅ローン控除やふるさと納税の基準が変わってしまうのでは?」と心配する人もいるかと思いますが、これらについては基本的に影響ありません。また所得税や住民税の納付から減税しきれない世帯には、その差額が「給付金」として支給されます。

また所得税や住民税の納付から減税しきれない世帯には、その差額が「給付金」として支給されます。

### 簡単にできる財務分析

佐藤です。我々が会社の現状や懸念点をお伝えする際に財務諸表を用いて説明します。適切に日々の取引を記帳できていれば良い点・悪い点が必ず財務諸表に表れます。今回は自社の決算書で確認すべき基本項目のうち2点をご紹介します。経営者のみならず経理担当の皆様もぜひ一度ご確認ください。

① **流動比率(%)**：流動資産÷流動負債×100 (短期的に返済が必要な負債の何倍現預金等を保有しているか)

⇒流動資産は現預金・売掛金など1年以内に現金化できる資産の合計で流動負債は買掛金・1年以内に返済が必要な借入金などの合計です。一般的に流動比率が120%(短期的に返済予定の1.2倍の資産を保有)あれば安全と言われていています。100%を切っている場合は早急に資金繰りを検討する必要があります。

② **利益増加率(%)**：(当期経常利益－前期経常利益)÷前期経常利益×100 (会社の成長規模を確認)

⇒「経常利益」は固定資産売却損益など臨時的な収支を計上する前の会社の営業成績です。3期比較を行うことで、毎年の増加・減少の要因を考えることで今後の改善すべき点を見つけることが出来ます。

経常利益の代わりに営業利益を用いると本業の利益部分のみに着目することも出来ます。

今回ご紹介したほかにも多くの指標があり、決算書を分析することで自社の強みや弱みを知ることが出来ます。現状で気になる点や、今後どこを改善すればよいか確認したい方はお気軽に担当者までご相談ください!!

# 今月の いろいろ 「掲示板」

## 事務所ホームページについて

事務所HPではセミナー・イベントの開催告知やお盆・年末年始の休業日のご案内など、適宜更新しております。また、毎月発行している事務所通信のバックナンバーも過去1年分をPDF形式で閲覧いただけます。

下記 URL ですので、是非一度ご確認下さい。今後も適宜更新いたします。

<http://ac-tax.jp/>

## 臨時休業のお知らせ

9月6日（金）は社外研修のため、終日臨時休業いたします。クライアントの皆さまにはご迷惑をおかけしますが、ご理解の程よろしくお願い致します。



# 振り向けば あそこにも ここにも 「商売のヒント」

## 今月の商売のヒント：【商売の神髄は「和して同ぜず」】

仕事上で意見が割れたとき、あなたはどうか対処しますか？孔子の『論語』にこんな一節があります。「君子和而不同（君子は和するも同ぜず）」。これは「人と協力することはあっても、人の意見や態度にむやみやたらに同調しない」という教えです。この簡潔な一節には、商売の神髄ともいえる深い英知が秘められています。和するとは調和を保つこと。同ぜずとは、自身の個性を失わないこと。この、一見相反する2つの要素のバランスこそが、商売の成功へとつながる道だと思えます。たとえ少人数の会社でも、時には意見の食い違いから衝突することもあるでしょう。しかしその中で調和を見出しつつ、各々が自身の独自性を失わない。そう簡単にはいかないものではありませんが、そこに価値ある対話が生まれるのは確かです。調和を保つとは単なる同調ではありません。それは相手の立場を理解



し、尊重する姿勢です。経営者といえどもチームの一員と捉えれば、全体の調和を乱さない配慮を持ちつつ、同時に自分自身の信念や創造性を失わない。この絶妙かつ微妙なバランスを保つことこそが、真のリーダーシップだと孔子は述べています。調和を重んじるあまり自己を殺してしまったり、逆に自己主張が強すぎて周囲とのあつれきを生んだりすることもあります。その狭間で揺れ動くのが経営者かもしれません。だからこそ孔子は「和して同ぜず」を「君子」の特質としてあげ、理想の姿として私たちに示したのでしょうか。日々の決断の中で調和と個性のバランスを取り続ける。その積み重ねがやがて企業文化となり、会社の個性となっていくのではないのでしょうか。



李です。ほぼ外ではお酒を嗜まないのですが、最近取り寄せてまで楽しんでいるお酒があります。岡山県のジビエ農家民宿が製造販売しているスムージーのような冷凍「どぶろく」です。どぶろくやにごり酒は日本中どこにでもあり、また韓国の「マッコリ」も今や手軽に購入できる日常のお酒となっています。このスムージーのような冷凍どぶろくは、米糶と水を主原料に昔ながらの無添加・製法でもろみをこさず、丁寧に手作りされています。生産量も少ないため受注生産に近い状態です。どぶろくはそのままだと発酵が進み味が変わるので冷凍保存し、飲みたいときに冷凍庫から出して解凍してからお好み状態でお猪口に注いで頂きます。特にオススメしたいのがシェイクのような半解凍状態です。甘さが際立ち、とても濃厚で美味しく感じられます。口当たりがとてもよく、大変飲みやすいと言えども度数はそれなりにあるので、一気に飲むとベロベロに酔っ払います。私には嗜む程度がちょうど良いのです（笑）